



家庭教育学級 情報交換会③

第3回情報交換会を、前回同様岩井秀樹氏((株)キユムラス インスティテュート代表取締役)に講師をお願いし、松戸市文化ホール“フューチャーセンター 対話の森”で行いました。

*参加校：柿ノ木台・梨香台・常盤平第三・松飛台・八ヶ崎第二・新松戸西小学校

《報告》：『みんなの考えをまとめていくための話し合いの仕方』の取組



- 話し合いの流れにうまく乗るとどんどん意見が出てきて、学級生も勉強になったと大好評だった。
- 少人数の話し合いを共有することで、話し合いが深まった。
- 全学級生に呼びかけて、この話し合いを恒例の学習会にしたい。
- 新しいテーマに対する質問の作り方をどうすれば良いか。
- 「学級生を増やすには？」をテーマに話し合ったが、多くの意見を収束させてどこに着地すればよいか難しかった。

《講師より》

- ファシリテーターが、「話し合いをコントロールしない」という気持ちが必要である。
- 「何を決めたいか、話し合いたいか。」で、質問の内容が決まる。また、その質問に対し、参加者が「どのような視点・視野・視座をもって考えられるか。」も大切。
- 収束の仕方のポイント
 - それぞれの意見が、“見える化”されているか。
 - “ただ話し合う”、その中で共感が生まれることがある。



《1年の振り返り・感想》

- 「子どもに対して思っていること、自分の考えていることを表現できる場が家庭教育学級だ。」と改めて実感できた。
- 訳が分からず参加していたが、回を重ねるごとに勉強になった。情報交換会の代表校になって良かった。



- 学ぶことが楽しいと、改めて気付いた。
- 「聞き、体験し、実践」をして理解が深まった。職員間でも行ってみたい。
- 他校の人から刺激をもらって嬉しい。